

薬用植物園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
10月31日
第54号



サイカチ (マメ科)

園内、水性植物区の池の横で沢山の刀状の豆果がぶら下がっているのが見られます。水辺の原野に自生する日本特産の落葉高木です。サイカチは、漢字で「阜茨」と表現しますが、本来のこの字は中国産のシナサイカチを指しています。なお、「阜」の代わりに「皂」が使われることがあります。この字は異体字（俗字）です。中医学では、シナサイカチの成熟した豆果を「阜茨（ソウキョウ）」という生薬として鎮咳去痰に、種子を「阜角子（ソウカクシ）」という生薬として瀉下を目的に使用します。民間では、棘を煎じて飲むとリウマチに効くとも言われています。豆果は グレシチアサポニンが多く含まれ、サヤは水につけて手で揉むと、ぬめりと泡がでるので、かつては石鹸の代わりに利用していました。

マリーゴールド (キク科)

園内、管理棟横で鮮やかな黄、橙色の花が見られます。中南米原産の一年草で、鉢植え、花壇、切り花など鑑賞用としてよく利用されています。な根に線虫の防除効果があるため、コンパニオンプランツとして植えました。なお「マリーゴールド」は、キク科 *Tagetes* (コウオウソウ) 属に属する園芸植物全般を指す用語で、特定の種を指す用語ではありません。全草から得られる精油をタジェット油 (tagetes oil) として、アロマセラピーで鎮静、健胃を目的に使用されるほか、黄色染料としても用いられています。インドやネパールでは、宗教儀式にも使われているとのこと。

今、こんな草木が楽しめますよ！！